尼崎市 Amagasaki City

令和８年（2026 年） ９月 16 日	
所　属	文化振興課
所属長	苅田　昭憲
電　話	06－6489－6385

新鋭アーティスト発信プロジェクト
A-LAB Exhibition Vol.53「A-LAB Artist Gate ’26」を開催

１　趣旨

尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」（えーらぼ）において、若いアーティストを応援するプロジェクトとして、新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-LAB Artist Gate ’26」を開催します。

「A-LAB」 で毎年開催している 「Artist Gate」。 本プロジェクトは今後活躍が期待されているアーティストによるグループ展です。今春、 大学・ 専門学校を卒業か、大学院を修了し、新たなステップに羽ばたこうとしている若手アーティストを紹介します。平成 28（2016）年に初開催して以来、これまで 66 人のアーティストを紹介してきました。 本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一歩となり、 今後大きく羽ばたいていくことを期待します。

２　概要

展示名：「A-LAB Artist Gate ’26」
会　期：令和８年（2026 年）10 月 24 日（土）～12 月６日（日）
会　場：A-LAB（尼崎市西長洲町２-33-１）
時　間：午前 10 時～午後６時
休館日：火曜日（ただし、11 月３日（火）は開館、11 月４日（水）は休館）
出展者：上続ことみ、黄馨玥、辻大輝、見島澪佳、MIYAMOTO ANJU、渡叶多
入場料：無料
主　催：尼崎市

３　関連イベント

トークイベント

選考員の林勇気氏（映像作家）、大槻晃実氏（芦屋市立美術博物館学芸員）、野原万里絵氏（画家）を迎え、出展作家とのトークイベントを開催します。

日　　時：①11 月７日（土）　午後２時から午後３時 30 分
　　②11 月 28 日（土）　午後２時から午後３時 30 分
登 壇 者：①＜選考員＞大槻晃実、林勇気
　　＜参加作家＞上続ことみ、辻大輝、MIYAMOTO ANJU
　　②＜選考員＞大槻晃実、野原万里絵
　　＜参加作家＞黄馨玥、見島澪佳、渡叶多
申込方法：メール（amalove.a.lab@gmail.com）で「イベント名、希望日時、氏名、電話番号、人数」を明記ください。
定　　員：各日先着 20 名

以　上



会　　期	2026 年 10 月 24 日（土）～12 月 6 日（日）（ただし 11/3 開館、11/4 休館）
開 館 時 間	午前 10 時～午後 6 時
会　　場	A-LAB（えーらぼ）　尼崎市西長洲町 2-33-1
休　館　日	火曜日
入　場　料	無料
主　　催	尼崎市

開催要旨

尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」で毎年開催している「Artist Gate」。本プロジェクトは今後活躍が期待されているアーティストによるグループ展です。今春、大学・専門学校を卒業か、大学院を修了し、新たなステップに羽ばたこうとしている若手アーティストを紹介します。平成 28(2016) 年に初開催して以来、これまで 66 人のアーティストを紹介してきました。本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一歩となり、今後大きく羽ばたいていくことを期待します。

選考員

林勇気 / 映像作家 ※ A-Lab Exhibition Vol.12『あ な た が [　] ほ し い i want you [to x]』(2018) 出展作家
膨大な量の写真をコンピューターに取り込み、切り抜き重ね合わせることでアニメーションを制作。自ら撮影した写真のほか、人々から提供された写真やインタビューを素材とした制作により、デジタル・メディアやインターネットを介して行われるコミュニケーションや記憶のあり方を問い直す。

野原万里絵 / 画家 ※ A-Lab Exhibition Vol.11 個展「 □△も積もれば〇となる 」(2017) 出展作家
絵画の制作過程に焦点を当て、線や面を描くための定規や型紙を自作したり、多数のドローイングを起点とした絵画を描く。近年は、ワークショップを日本各地で開催し、協働制作による作品も発表。他者と自身を行き来しながら制作することで、絵画の新たな可能性を模索している。

大槻晃実 / 芦屋市立美術博物館学芸員
専門は近現代美術。2026 年 4 月より武蔵野美術大学が運営する gallery αM のゲストキュレーターとして、αM プロジェクト 2025–2026「立ち止まり振り返る、そして前を向く」を企画している。

関連イベント

トークイベント

選考員の林勇気 (映像作家)、野原万里絵 (画家)、大槻晃実 (芦屋市立美術博物館学芸員) を迎え、出展作家とのトークイベントを開催します。
定員先着 20 人。要申込。

日時 :①2026 年 11 月 7 日 (土) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
選考員 : 林勇気、大槻晃実
参加作家 : 上続ことみ、辻大輝、MIYAMOTO ANJU

②2026 年 11 月 28 日 (土) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
選考員 : 野原万里絵、大槻晃実
参加作家 : 黄馨玥、見島澪佳、渡叶多

関連イベント

※関連イベントは参加無料です。
申込みはメールで A-LAB へ。 イベント当日は会場（A-LAB）受付までお越しください。
お申し込みの際は、 下記メールアドレスまでイベント名・参加希望日・氏名・電話番号・人数を明記ください。

A-LAB メールアドレス

amalove.a.lab@gmail.com

広 報 用 画 像

このプレスリリースに掲載されている画像データ（※ 8 ～ 13 ページ参照）をプレス掲載用にご用意しております。 下記の使用条件をご了承の上、A-LAB までお申し込みください。

使用条件：
・広報画像の掲載には各画像のキャプション、 クレジットを表示ください。
・トリミングや画像加工などはご遠慮ください。
・アーカイブのため、 後日掲載紙、 URL などをお送りください。
以上、 ご協力の程、 何卒よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

A-LAB（午前 10 時～午後 6 時　＊火曜日休館）
担当：田野、 北村
電話 / FAX　06-7163-7108　メール amalove.a.lab@gmail.com
尼崎市文化振興課（平日：午前 9 時～午後 5 時）
担当：原田、 山城
電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

作家略歴

■上続　ことみ（うえつぐ　ことみ）



和歌山県出身
2022 年　大阪芸術大学芸術学部写真学科 卒業
2026 年　大阪芸術大学大学院芸術制作専攻デザイン写真領域 修士課程 修了

【受賞歴】
2019 年「仁川海洋メディアフェスティバル」 奨励賞
2022 年「大阪芸術大学写真学科卒業制作展」NIKON 賞
2025 年「NOICE MAGAZINE Q4 NOICE」VEA WINNER

【主な展覧会】
2020 年「NEW JAPAN PHOTO10 IN DUBAI」CHI-KA、ドバイ
2021 年「KYOTOGRAPHIE KG+2021 特別展　JAPAN PHOTO AWARD+INTUITION」HOTEL ANTEROOM KYOTO I Gallery 9.5 、 京都
2022 年「大阪芸術大学写真学科卒業制作展」大阪芸術大学、 大阪
2022 年「A-lab Artist Gate’ 22」A-LAB、 兵庫
2022 年「DEEPSTARIA」和歌の浦アート・キューブ、 和歌山

【制作ステートメント】
写真を用いて、人間の視覚における盲点や補完機能、意味生成の過程を探求している。 フォトコラージュによる視覚構造の再構成を出発点とし、 近年は光や残像、 知覚の遅延といった「意味になる以前の感覚」に関心を広げている。 見ることの不確かさと、 人間が世界を認識する仕組みを主題に制作を行っている。

■黄馨玥（こう　しつき）



中国出身
2026 年 京都精華大学芸術学部造形学科立体造形専攻 卒業
現在、 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修士課程 在学中

【受賞歴】
2020 年「四川美術学院卒業オンライン展示会」観客賞
2026 年「京都精華大学展 2026 ―卒業・修了発表展―」芸術学部奨励賞

【主な展覧会】
2025 年 京都精華大学立体造形三回生進級制作展「〇縁」妙満寺大書院、 京都
2025 年 京都精華大学立体造形六人展「ハイドレンジア」さらさ西陣、 京都

作家略歴

2025 年「うっかり動物」Gallery 2Broca、 東京
2026 年「京都精華大学展 2026 ―卒業・修了発表展―」京都精華大学、 京都

【制作ステートメント】
虎のキャラクターを制作の軸とし、 木彫を中心とした立体作品や平面作品など多様な表現を展開している。 最近は「面白さとは究極の退屈なのではないか」という問いを手がかりに、 ユーモアや違和感のあり方について考察しながら制作を行っている。 動物の姿を通して日常に潜む感覚のずれや反復を捉え、 人間の感情を映し出す表現を探求している。

■辻　大輝（つじ　だいき）

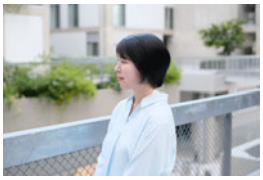


滋賀県出身
2024 年 京都精華大学芸術学部造形学科映像専攻 卒業
2026 年 京都精華大学大学院芸術研究科映像領域 修士課程 修了

【主な展覧会】
2023 年「侵色 : 開始」京都精華大学ギャラリー Terra-S、 京都
2024 年「生き続けるもの」瑞雲庵、 京都
2025 年「空の体たち」hatoba gallery、 京都
2025 年「未来のえいでん」 アートプロジェクト、 叡山電鉄京都精華大学前駅構内、 京都
2026 年「Kyoto Art for Tomorrow2026 – 京都府新鋭選抜展 –」京都文化博物館、 京都
2026 年「アウトライン―上野英里 × 辻大輝」京都精華大学ギャラリー Terra-S、 京都
2026 年「ARTISTS’ FAIR KYOTO 2026」京都国立博物館明治古都館、 京都

【制作ステートメント】
街ゆく人々や映像作品におけるエキストラなど、 匿名性を帯びた存在への関心を起点に、 デジタルメディアを用いたインスタレーションを制作する。 個人でありながら背景として扱われる彼らをモチーフに他者との摩擦、 想像の余地に着目し、 関係性の中で形作られる「個」の在り方を探求する。

■見島　澪佳（みしま　れいか）



撮影：佐藤真優

大阪府出身
2024 年 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻 卒業
2026 年 京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻 修士課程 修了

作 家 略 歴

【受賞歴】
2025 年「TURNER AWARD 2025」未来賞
2026 年「京都岡崎アートプロジェクト展」入選

【主な展覧会】
2025 年「光影」京都市立芸術大学 C 棟1階プロジェクトルーム、 京都
2026 年「Let Your Art Out!」都ホテル京都八条 B1、 京都
2026 年「TURNER AWARD 2025」受賞作品展、 TURNER GALLERY・東京、 バックス画材 GALLERY・京都
2026 年「ARTISTS’ FAIR KYOTO 2026」京都国立博物館明治古都館、 京都
2026 年「京都岡崎アートプロジェクト展」チャームプレミア京都岡崎、 京都

【制作ステートメント】
私は「軽さ」をテーマに制作している。 ここでいう軽さとは重量ではなく、中身の薄さや空虚さを指す。一見否定的に捉えられがちな軽さだが、 そのなかにはしがらみや深刻さにとらわれない飄々とした魅力があると考えている。《ペラペラ人間》シリーズでは、 そうした軽さを理想化した存在として描いている。

■MIYAMOTO　ANJU（みやもと　あんじゅ）



高知県出身
2024 年 成安造形大学美術領域洋画コース 卒業
2026 年 京都芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻美術工芸領域 油画分野 修士課程 修了

【受賞歴】
2024 年「成安造形大学卒業制作展 2024 : on the earth」優秀賞
2025 年 クマ財団クリエーター奨学金 9 期生採択

【主な展覧会】
2023 年「美術領域選抜個展シリーズ　vol.45「my angel」」成安造形大学キャンパスが美術館ギャラリーキューブ、 滋賀
2025 年「je vois le couleur – その色が見えている」ギャラリー素、 京都
2026 年「KUMA EXHIBITION　2026」スパイラルガーデン 、 東京
2026 年 「2025 年度京都芸術大学卒業展大学院修了展」京都芸術大学瓜生山キャンパス人間館ギャルリ・オーブ、 京都

【制作ステートメント】
日常のなかで感じたことから、ドローイング、アニメーションを用いて制作を行っています。 色の掠れ、線と線の隙間の空気、 その全てに感覚があります。 それは時に「キ」「マチ」「ヒト」として現れ、のびやかに空間を切り込み、 ものの輪郭をたどります。 趣味は「くまさん」の制作です。

作家略歴

■渡　叶多（わたる　かなた）



大阪府出身
2026 年 京都精華大学芸術学部造形学科日本画専攻 卒業
現在、 京都市立芸術大学大学院美術研究科日本画専攻 修士課程 在学中

【受賞歴】
2024 年「第 63 回高槻市美術展覧会　日本画部門」 市長賞
2024 年「第 68 回吹田市展　日本画部門」議長賞
2025 年「第 17 回鯖江市美術展　日本画・水墨画」市長賞
2025 年「第 43 回上野の森美術館大賞展」入選
2025 年「第 71 回兵庫県日本画家連盟会員展・公募展」奨励賞
2025 年「第 64 回高槻市美術展覧会　日本画部門」若手奨励賞
2025 年「第 69 回吹田市展　日本画部門」議長賞
2026 年「京都精華大学展 2026 ―卒業・修了発表展―」芸術学部奨励賞

【主な展覧会】
2023 年「日本画二・三回生展」京都精華大学5号館、 京都
2023 年「真剣衰弱」京都精華大学ドラフトギャラリー、 京都
2024 年「日本画二・三回生展」京都精華大学5号館、 京都
2024 年「日本画五人展　－結－」アートギャラリー北野、 京都
2024 年「日本画四人作品発表展」京都精華大学ドラフトギャラリー、 京都
2025 年「日本画四人展［ゆらぎ］」アートギャラリー北野、 京都
2025 年「「対話」と《絵》」ALC Library & Gallery、 京都
2026 年「京都精華大学展 2026 ―卒業・修了発表展―」京都精華大学、 京都
2026 年「スタジオ・ツキミソウ月例 2 月のオープンスタジオ」スタジオ・ツキミソウ、 京都
2026 年「渡叶多日本画展［あとを辿る］」Art Spot Korin、 京都
2026 年「WATER COOLER CONVERSATIONS 左京区」京都精華大学ギャラリー　Terra-S、 京都

【制作ステートメント】
画面の奥にある空間は、 ひとつの隔離された部屋である。 無作為に並べられた衣服や家具、 食器といったモノ同士の関係性や触れたことで生まれる傷や指紋は、 そこで暮らす人の人となりや生活観を静かに写し出す。 その空間の中にあるモノと人の関係により、 まるでそこに人が居るかのような動きやそれに纏わる動線の可視化を試みる。

参考図版



1



2



3



4



5

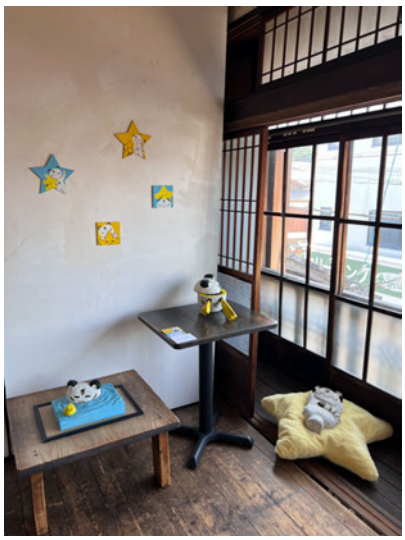


6

参考図版



7



8



9



10



11

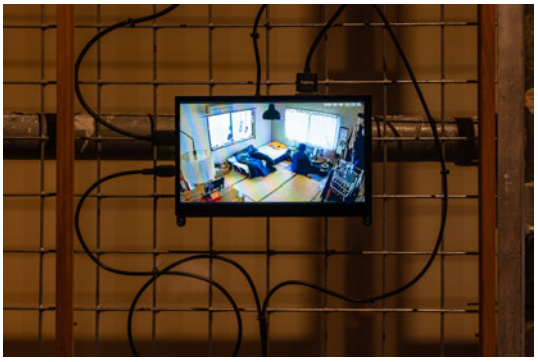


12

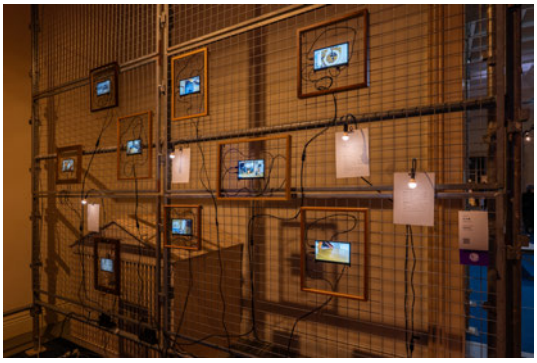
参考図版



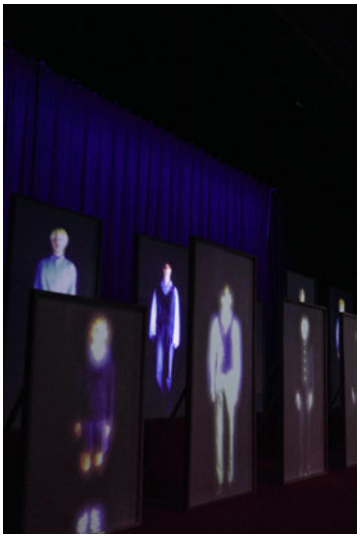
13



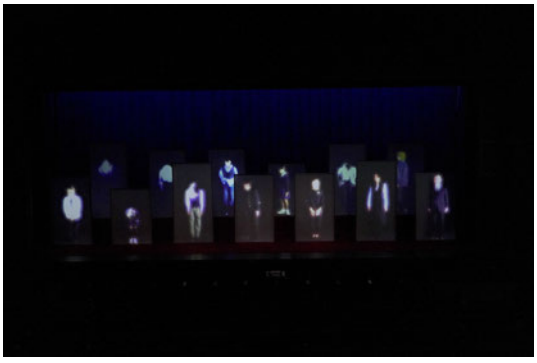
14



15



16



17



18

参考図版



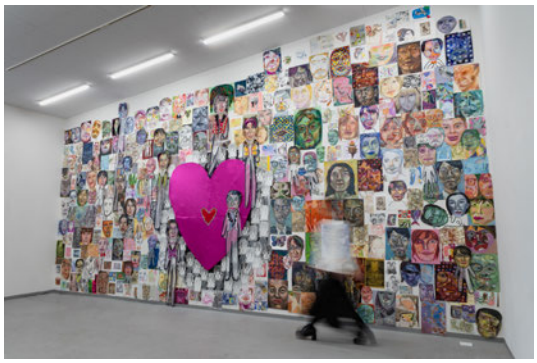
19



20



21



22



23



24

参考図版



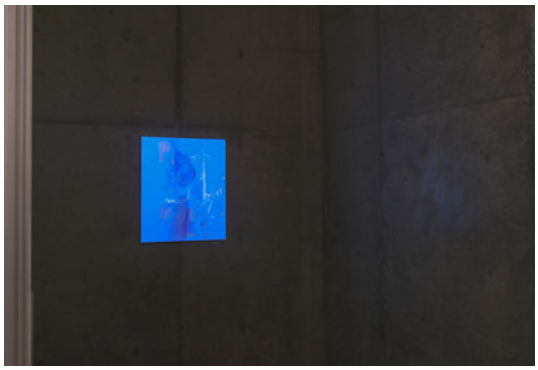
25



26



27



28



29



30

参考図版



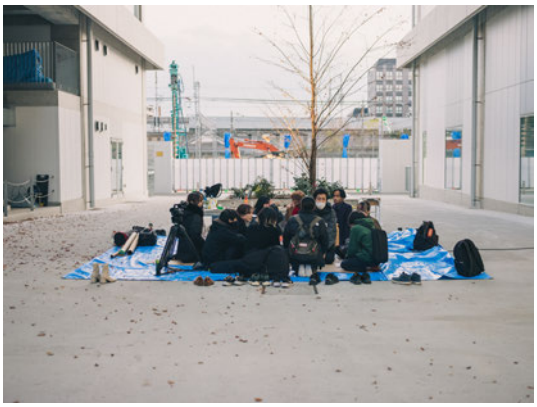
31



32



33



34



35



36

画像情報

作者名｜『作品タイトル』｜制作年

1–3. 上続ことみ｜『視覚から知覚へ 』｜2023
4. 上続ことみ｜『視ることの内側の見えないもの』｜2025
5. 上続ことみ｜『綾』｜2021
6. 上続ことみ｜『O.A – On Air –』｜2021
7. 黄馨玥｜『なんか楽しそう』｜2025
8. 黄馨玥｜『のんびり三昧』｜2025
9. 黄馨玥｜『のんびり三昧 NO.1』｜2025
10. 黄馨玥｜『夏をつかめると思って』｜2025
11. 黄馨玥｜『虹色な透明』｜2025
12. 黄馨玥｜『虎の寝転び』｜2026
13. 辻大輝｜『おあいできて光栄です』｜2024
14. 辻大輝｜『「A Sight of 9」シリーズより《From the corner of the room》』｜2026
15. 辻大輝｜『「A Sight of 9」シリーズ』｜2026
16–17. 辻大輝｜『送辞または答辞』｜2026
18. 辻大輝｜『キョウのお料理～じいじのかぼちゃのたいたん編～』｜2026
19. 見島澪佳｜『ペラペラ人間』｜2026　photo by Kenryou Gu
20. 見島澪佳｜『ARTISTS’ FAIR KYOTO 2026』｜2026　photo by Kenryou Gu
21. 見島澪佳｜『ペラペラ人間』｜2025　撮影：佐藤真優
22. 見島澪佳｜『ペラペラフェス』｜2026　撮影：佐藤真優
23. 見島澪佳｜『キメラ 1』｜2025　撮影：佐藤真優
24. 見島澪佳｜『キメラ 2』｜2025　撮影：佐藤真優
25.MIYAMOTO ANJU｜『ある日の dw_846 watching movies』｜2025
26.MIYAMOTO ANJU｜『ある日の dw_839 Before down』｜2025
27.MIYAMOTO ANJU｜『ある日の dw_828 On this earth』｜2025
28.MIYAMOTO ANJU｜『ある日の anima_ 夜のあおい』｜2025　撮影：岡田琉生
29.MIYAMOTO ANJU｜『ある日の anima_ 夜のあおい　部分』｜2025　撮影：岡田琉生
30.MIYAMOTO ANJU｜『ある日の dw_836 garden』｜2025
31. 渡叶多｜『あとを辿る 1F』｜2026
32. 渡叶多｜『あとを辿る 2F』｜2026
33. 渡叶多｜『乗り板の裏に落書きをしませんか？』｜2026
34–35. 渡叶多｜『膠話会』｜2025　撮影：藤本一輝、日髙憲伸
36. 渡叶多｜『対話型クロッキー』｜2025　撮影：榎園あすか

次回展

A-LAB Exhibition Vol.54

「永井秀幸　とびでる！錯覚3Dアート展 in 尼崎」

2027 年 1 月 23 日（土）～ 3 月 21 日（日）

３D アーティスト・絵本作家として活躍する永井秀幸の不思議な世界が、 尼崎にやってくる！視点を動かしたりカメラを通して見ると、 立体的に見える3D アート作品が大集合。子どもから大人まで楽しめる体験型の展覧会。 ぜひカメラを持って A-LAB にお越しください。



Exhibition Vol.53

新鋭アーティスト発信プロジェクト

A-LAB Artist Gate '26

上続ことみ

黄馨玥

辻大輝

見島澪佳

MIYAMOTO ANJU

渡叶多

2026年10月24日｜土｜―― 12月6日｜日｜

ただし11月3日｜火・祝｜は開館、11月4日｜水｜は閉館

尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」で毎年開催している「Artist Gate」。
本プロジェクトは今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展です。
今春、大学・専門学校を卒業か、大学院を修了し、新たなステップに羽ばたこうとしている若手アーティストを紹介します。

A LAB

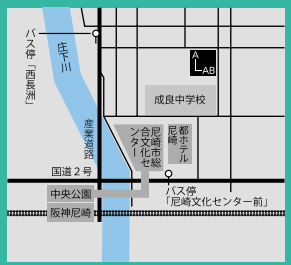
住所：
尼崎市西長洲町2-33-1
※会場に一般駐車場はありません

開館時間：午前10時-午後6時
入場料：無料
休館日：火曜日

問い合わせ先：
A-LAB
Tel. / Fax. 06-7163-7108

尼崎市文化振興課
Tel.06-6489-6385
Fax.06-6489-6702

@amalove.a.lab
@alab_amalove
ama-a-lab.com



A-LAB Artist Gate‘26　出展作家



上続ことみ《視ることの内側の見えないもの》2025
撮影：山田毅

上続ことみ Uetsugu Kotomi［写真］

和歌山県出身。2026 年 大阪芸術大学大学院芸術制作専攻デザイン写真領域 修士課程 修了。

展覧会｜個展「DEEPSTARIA」（和歌の浦アート・キューブ/和歌山）2022、「A-LAB Artist Gate'22」（A-LAB/兵庫）2022、大阪芸術大学写真学科卒業制作展（大阪芸術大学/大阪）2022
受賞｜NOICE MAGAZINE Q4 NOICE VEA WINNER（2025）、大阪芸術大学写真学科卒業制作展 NIKON賞（2022）



黄馨玥《のんびり三昧No.1》2025

黄馨玥　Huang Xinyu［彫刻］

中国出身。2026 年 京都精華大学芸術学部造形学科立体造形専攻 卒業。現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修士課程 在籍中。

展覧会｜「うっかり動物」（Gallery 2Broca/東京）2025、京都精華大学立体造形六人展「ハイドレンジア」（さらさ西陣/京都）2025、京都精華大学立体造形三回生進級制作展「〇縁」（妙満寺大書院/京都）2025



辻大輝《キョウのお料理〜しいじのかぼちゃのたいた人編〜》2026

辻大輝　Tsuji Daiki［映像］

滋賀県出身。2024 年 京都精華大学芸術学部造形学科映像専攻 卒業。2026年 京都精華大学大学院芸術研究科映像領域 修士課程 修了。

展覧会｜「ARTISTS' FAIR KYOTO 2026」（京都国立博物館明治古都館/京都）2026、「アウトライン―上野英里×辻大輝」（京都精華大学ギャラリーTerra-S/京都）2026、「Kyoto Art for Tomorrow 2026 -京都府新鋭選抜展-」（京都文化博物館/京都）2026



見島澪佳《バラバラ人間》2025　撮影：佐藤真優

見島澪佳　Mishima Reika［インスタレーション］

大阪府出身。2026年 京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻 修士課程 修了。

展覧会｜「京都岡崎アートプロジェクト展」（チャームプレミア京都岡崎/京都）2026、「TURNER AWARD2025」受賞作品展（TURNER GALLERY/ 東京・バックス画材GALLERY/京都）2026、「Let Your Art Out!」（都ホテル京都八条B1/京都）2026
受賞｜京都岡崎アートプロジェクト展 入選（2026）、TURNER AWARD 2025 未来賞（2025）



宮本杏珠《ある日のdw_836 garden》2025

MIYAMOTO ANJU［油画］

高知県出身。2026年 京都芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻 美術工芸領域油画分野 修士課程 修了。

展覧会｜「KUMA EXHIBITION 2026」（スパイラルガーデン/東京）2026、「je vois le couleur ー その色が見えている」（ギャラリー素/京都）2025、「 美術領域選抜個展シリーズ vol.45「my angel」」（成安造形大学ギャラリーキューブ/滋賀）2023
受賞｜成安造形大学卒業制作展2024 優秀賞（2024）



渡叶多《乗り板の裏に落書きをしません か？》2026

渡叶多　Wataru Kanata［日本画］

大阪府出身。2026年 京都精華大学芸術学部造形学科日本画専攻 卒業。2026年 京都市立芸術大学大学院美術研究科日本画専攻 修士課程 在籍中。

展覧会｜「WATER COOLER CONVERSATIONS 左京区」（京都精華大学ギャラリーTerra-S/京都）2026、渡叶多日本画展[あとを辿る]」（Art Spot Korin/京都）2026、「スタジオ・ツキミソウ月例 2 月のオープンスタジオ」（スタジオ・ツキミソウ/京都）2026
受賞｜第69 回吹田市展 日本画部門 議長賞（2025）、第64回高槻市美術展覧会 日本画部門 若手奨励賞（2025）、第71回兵庫県日本画家連盟会員展・公募展 奨励賞（2025）

トークイベント（参加無料・要申込） 2026年11月7日(土)、11月28日(土)　各日14:00〜15:30

選考員の林勇気（映像作家）、野原万里絵（画家）、大槻晃実（芦屋市立美術博物館学芸員）を迎え、出展作家6名とのトークイベントを開催します。申込方法など、詳細はA-LABホームページをご覧ください。

新鋭アーティスト発信プロジェクト

A-LAB Artist Gate‘27

出展アーティスト募集

募集期間 / 2027 年 1 月 4 日 (月) 〜 2 月 28 日(日)

展覧会会期 / 2027 年 10 月 16 日 (土) 〜 11 月 28 日 (日) (予定)

- **対象者**　令和 9（2027）年の春に、関西（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県）の大学や専門学校、大学院の芸術分野を卒業・修了予定で、今後もアーティスト活動を継続希望の方。
- **選考方法**　公募による候補者の中から選考員による選考会を行い、出展アーティストを決定します。選考結果はメールにて通知します。（5 名程度）
- **問い合わせ先**

（公財）尼崎市文化振興財団 美術課 美術担当　受付時間：9 時 -17 時　休業日：火曜
〒661-0979 兵庫県尼崎市上坂部 2 丁目 1 - 9（※2026 年 10 月 1 日より事務所が移転）
Tel：06-6487-0806　Fax：06-6482-3503　Mail：bunka@archaic.or.jp

申込方法など詳細は A-LAB ホームページをご確認ください

※A-LAB の運営は尼崎市からの受託事業です